

2024年4月19日  
京浜急行電鉄株式会社

保安装置を作動させない状態での列車の運転について（お詫び）

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：川俣 幸宏）では，4月5日（金）運転士が，保安装置の一つであるデッドマン装置（運転士が急病などで運転が困難になったときに非常ブレーキがかかる装置）を作動させない状態で列車の運転を行っていたことが判明いたしましたのでお知らせいたします。

ご利用のお客さまにはご心配・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。本件を厳粛に受け止め，再発防止に取り組んでまいります。

1. 発生日時 4月5日（金） 14時3分頃
2. 発生場所 本線 井土ヶ谷駅～南太田駅間（上り線）
3. 担当運転士 48歳 経験17年
4. 概況 担当運転士が，運転操作中に眠気をもよおしてしまい，マスコンハンドルから手が離れることにより保安装置が作動してしまうことを恐れ，マスコンハンドルにヘアゴムを巻き付けることで作動させない状態で運転を行っていました。  
なお，定期巡回を行っていた運転業務指導担当者が，上記の行為を確認し，本件が発覚いたしました。
5. 再発防止策 全ての乗務員に対して，改めて保安装置の重要性について指導を実施するとともに，運転に関する基本作業の取り扱いを再徹底いたします。

以上